

10月1日は就業構造基本調査

企画課政策推進係 ☎0824-73-1112

10月1日現在で、全国一斉に就業構造基本調査を実施します。

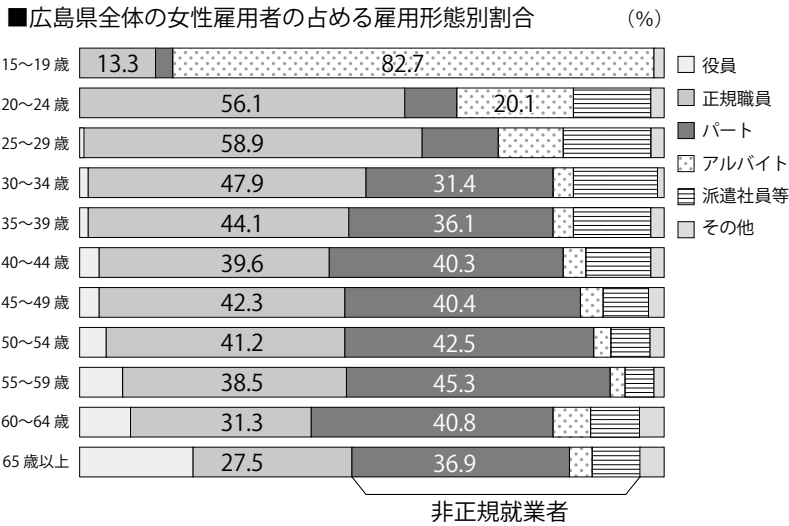
この調査では、普段仕事をしているかどうかや、就業に関する希望などを調査し、その結果は各種雇用政策や少子・高齢化対策などの基礎資料となります。

また今回は、有期雇用契約の実態や、育児・介護と就業とのワークライフバランスの状況、昨年発生した東日本大震災の仕事への影響も調査項目に加え、就業を取り巻くさまざまな状況を把握・分析することで、雇用環境改善に役立てられていきます。

調査対象は市内11地区で、今月から調査員が対象地区内を回ります。対象地区内の中で調査協力をお願いすることとなった世帯には、今月下旬に調査書類の配布に伺いますので、本調査の趣旨をご理解いただき、記入提出にご協力ください。よろしくお願いいたします。

前回(平成19年)調査の結果から

左のグラフは、広島県全体の女性雇用者に占める雇用形態別の割合を年齢階級ごとに表したものです。30歳から59歳までを見ると、パートの割合が約4割を占め、アルバイトなどを含めた非正規就業者の割合も5割と高くなっています。



安心・安全な毎日のために

庄原警察署 ☎082-72-0110

振り込め詐欺の手口

県内で振り込め詐欺の被害が止まりません。次のような手口でだまされてきました。

Point1 名簿を利用している
最近、県内の有名高校の名簿を利用して実家に電話を掛けてくるケースが多く見られます。

Point2 携帯電話が変わった
多い手口としては、「携帯電話が壊れて電話番号が変わった」と言って、新しい電話番号を連絡先として指定してきます。被害に遭ったケースでは、子どもや孫だけでなく、弁護士役、ヤクザ役、警察官役、会社の上司役などさまざまな人物が登場し、複数の携帯電話を連絡先として教えてきます。

Point3 元の電話番号を確認する
大事なのは、相手の言いなりになるのではなく、疑ってかかることです。子どもや孫の電話番号が

変わったと言われた場合は、「ほんとは変わったの?」と疑って、元の電話番号に連絡してみてください。ほとんどの場合、それで見破ることができます。

もし「現在使われておりません」のアナウンスが流れたら、他の家族にも連絡して、本当に電話番号が変わっているのか確かめるようにしましょう。

東城町で発生していた空き巣を逮捕!

今年7月末現在で空き巣などの侵入犯罪が15件発生しています。この内、東城町で連続発生していた空き巣犯人を6月に逮捕しました。

侵入の手口は、無締まりの玄関や窓から侵入するもので、高齢者宅を対象にしたものでした。外出時や夜間は、確実に施錠をするようにしてください。

秋の全国交通安全運動
9月21日(金)~30日(日)

